

【ポスター発表（5）】

団体名：公益財団法人佐賀県国際交流協会

<https://www.spira.or.jp>

<概要>

佐賀県国際交流協会は、県、市町村、県民の方々の協力により、県民総参加の国際交流を促進するための中核的組織として平成 2 年に設立され、国際理解の向上を図るための情報提供、県内国際交流団体への支援、県民と在住外国人との交流などを行っています。

<事業の柱>

- ・ 国際理解・啓発事業
- ・ 国際交流・協力推進事業
- ・ 多文化共生推進事業
- ・ グローバル人材育成事業

<日本語教育に関する取組>

- ・ ボランティア教室への経費の助成（会場費・教材費等）
- ・ ボランティア研修会の実施
- ・ 外国にルーツを持つ児童・生徒へのサポーター派遣（“カスタネット”への委託）

< 再委託団体：佐賀県日本語学習支援 “カスタネット” CASTANETS >

~Citizens from Abroad to Saga, Teaching Assistant NETWORKs~

<http://1st.geocities.jp/castanetsnihongo/>

“カスタネット”の目指すもの

1. 佐賀県に住む日本語がわからない外国籍住民の方が、日本語を学ぶことにより快適な生活を送ることができるようにする。
2. 佐賀県に住む日本語がわからず学校の授業についていけない外国につながる児童・生徒が、等しく日本語支援が受けられる日本語サポート体制作りをする。
3. 佐賀県で生活する外国籍住民の方の日本語支援の必要性を多くの方に理解していただく。

“カスタネット”の活動・三つの柱

CASTANETfor Beginners

外国籍住民の方への初級日本語集中講座のコーディネート及び実施

CASTANETfor Kids

外国につながる児童・生徒への日本語サポート体制づくり

CASTANETfor Supporters

日本語支援ボランティア養成講座の実施及び周知活動

平成 25 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラム B

ポスター
セッション

事業実施概要

事業名称	佐賀県「生活者としての外国人」に対する日本語教育体制整備事業	
地域の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市町行政の関与が少なく、日本語教室が地域で認知されていない。 ・外国人住民と接する機会がないため、外国人住民や地域日本語教育に対し理解が進んでいない。 ・ボランティアによる日本語教育が実施されているが、週1回程度の実施であり、特に日本語初級者にとっては、学習効率が悪く、レベルが上がりにくい。 ・日本語教室がない地域が多く存在する。 	
事業の目的	地域日本語教育を充実させていくため、外国人住民の問題を地域課題として認識、情報共有し、地域住民との交流の推進や地域の理解のもとで日本語教室を実施できる環境の整備。また、地域の日本語教室を充実させることで、外国人住民が日本人同様に活躍できる社会づくりにつなげていく。	
事業内容	取組1	
	名称	佐賀県日本語教育連絡会議
	内容	市町国際関係課、大学、日本語教育サポート団体等に呼びかけ、各団体の活動状況等情報共有や課題抽出等を行う日本語教育推進連絡協議会を実施。
	対象	市町国際関係課、大学、日本語教育サポート団体等、日本語教育関係者
	時間	第1回 1.5時間 第2回 2.0時間(全3.5時間)
	人数	21人
	取組2	
	名称	初級日本語集中講座
	内容	「1日6時間×6日(+発表会2時間)計38時間」を1講座とし、日本語基礎文法習得(名詞文・動詞文・形容詞文・動詞活用・丁寧体・普通体を体系的に学習)の講座を県内4か所で開催。最終日は当該地域の日本語教室のボランティアを招き発表会を行い、継続学習、継続交流のための橋渡しを行った。
	対象	来日直後の外国籍住民及び、日本語教育専門家による初期指導を受けていない、または体系的に日本語学習をしていない生活者としての外国人
	時間	1回 38時間 × 4回 (全152時間)
	人数	23人
	取組3	
	名称	日本語教育シンポジウム
	内容	地域での外国人住民への日本語教育支援活動について、広く地域住民へ周知し、日本語教育の必要性を理解していただくためのシンポジウムを開催。 ・米勢治子氏の講演会 ・県内各日本語教室の紹介 ・学習者による日本語スピーチ ・パネルディスカッション
	対象	地域住民、日本語教室関係者、行政担当者、教育関係者
時間	3時間20分	
人数	75人	
取組4		
名称	日本語支援ボランティア養成講座in神埼	
内容	日本語教室の空白地域である佐賀県神埼市に日本語教室を立ち上げることを目的として、ボランティア養成講座を実施	
対象	日本語支援ボランティアに関心のある地域住民	
時間	1回 2時間 × 16回 (全32時間)	
人数	22人	
連携体制	市町国際関係課、大学、日本語教育サポート団体等、日本語教育関係者による連絡会議を実施し、情報・課題の共有を実施したほか、日本語教育の専門団体である“カスタネット”と協働して取り組み、より効果的な日本語教育の手法の普及に努めた。	
成果と課題	日本語教育に関する認知度や理解については、一定の成果があり、また日本語教室も新規に立ち上げることができた。課題としては、新規教室の今後の運営や行政に対する働きかけが必要だと考える。	
発表者から一言	(公財)佐賀県国際交流協会との協働は昨年度初めてでしたが、“カスタネット”は通算4年度に渡って文化庁事業のおかげでいろいろなことができました。その成果と共に、地域日本語教育の抱える問題やそれに対する私たちの思いをお伝えできたら、と思います。	